



館報 まつかわ

松川町公民館報
第692号
令和3年7月15日

町の川 ⑬ 片桐神社 大井

清流苑ほたるの会

清流苑ほたるの会は、平成18年に自然環境の保全、螢を通して町民や清流苑を訪れる方の憩いの場にできればといふ思いから始まりました。メンバーは11名で、これまで螢を守る活動を行つてきまし

自然に増やすことが難しく、
清流苑の協力のもと自然から
採取した幼虫を水槽で飼育し
たりもしました。

蛍の増やし方や飼育の勉強に辰野町や新潟県上越市へ見学に行きました。水路に石灰

岩を敷き、蟻の幼虫の餌となるカワニナが増えるような対策がされていました。餌が増

清流苑の向かいを流れる川にはもともと蛍が生息しており、数を増やすことはできなかと蛍が住みやすい環境作りに取り組みました。温かい水を好むため、付近の立ち木を伐採し日光が当たるように工夫をしたり、幼虫の住み家となる池を増設し整備しました。さらには、蛍の幼虫の餌となるカワニナを町内の河川へ採取にも行きました。蛍は

えなければ虫が増えないと
うことを参考に、自分たちが
整備している区画へも石灰岩
を敷いたり、水温を上げる工
夫をしてみる。

昔は北小学校の敷地やその周辺で螢が見られたことから始まりました。

30センチ近く泥が堆積し悪臭が漂う状況でした。PTAの環境整備作業で堆積した泥の除去と、生い茂っていた黄菖蒲の株を取り除くなど、水路を大大的に整備しました。

清流苑ホタルの会の皆さんに水路や周辺の環境を見ていく

ただいたり、石灰岩を水路に
敷くお手伝をいただきお世話
になつてきました。

翌年から4年生の総合学習として取組むことになりました。だんだんと蚕の幼虫の朝

卷之三

活動は仲間たちで年間を通して、池の水、水路の管理、水温を記録したりしています。また、北小学校で行われている蛍の授業で生徒たちと交流を行つたりもしています。蛍が増えてくれることが活動のやりがいであり楽しみですが、活動後に皆さんで集まって、清流苑で慰労会を行つこともあります。

動のやりがいであり楽しみですが、活動後に皆さんで集まって、清流苑で慰労会を行なうことも一つの楽しみにしています。

北小学校の児童の取組み

となるカワニナが増えてきました。石灰岩の上に黒ゴマをまいたほど小さなカワニナがついていました。肝心の蛍で

すが数匹程度でした。蛍が飛び交うのにネットとなるのが町営グランドの照明でした。明るすぎて自分たちの思つて見る水路周辺では蛍の舞う姿は見えませんでした。そんな

折、蚩の取組を知った地元企業のご厚意で遮光ネットを設置していただきました。また

蛍の舞う時期は水路上の街灯を消灯したりして舞う環境は少しずつ良くなつてきまし

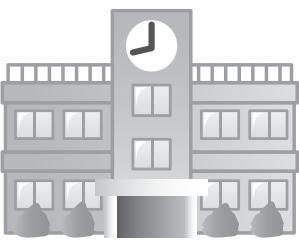
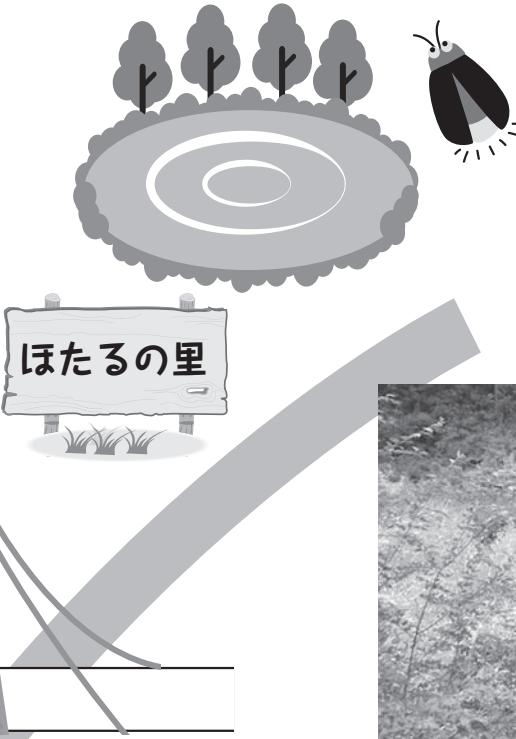
た。そのかいがあつて少しづつ螢が舞う様になり多い年は一夜で20匹近く見られた年が

ありました。

水路の水温を測ったり、カワニナの状態を観察していくます。秋には近くの山にホウ葉を探りに行きます。年に数回水路の掃除やカワニナの好き

なホウ葉を沈めたりしていま
す。3月にはお世話になつた
方々や3年生をお招きして報
告会をしています。その時3
年生にホウ葉を渡して引継ぎ
をしています。

A black and white photograph showing three children in a garden. The child on the left, wearing a patterned apron and a wide-brimmed hat, is holding a small plant. The child in the center, wearing a light-colored apron and a cap, is reaching out to touch a plant. The child on the right, wearing a dark t-shirt and shorts, is standing with hands on hips, looking at the plants. They are all wearing hats and aprons, suggesting they are engaged in a gardening or nature study activity.



北小学校

ほ。ほ。ほたるき

家のまわりではあまり見ることができなくなった螢。

きれいな水や草木のある自然環境の良いところで生息すると言われていますが、螢を守ろうと取組んでいる団体の活動を紹介します。



小川あり、北側が田んぼや畑が広がるわずかな場所です。

『昔はこのあたりは田んぼで螢が舞っていた。』と話して下さいました。

最初は有志5人でこの場所の整備を始めたそうです。

2010年4月に『ほたるの里』として地元の壮年団と一緒に整備をし、石灰岩を入れたり、堆積した砂を取り除いたり、山の下草狩りなどしてきていた様です。ここは源氏螢だそうです。

今年、4月に片桐松川に鯉のぼりを飾った後に地元の子ども達に螢の幼虫約200匹を放流してもらつたそうです。

螢の幼虫は有志数名で産卵から飼育を行つたもので、幼

東南側が山の傾斜下に小さな小川あり、北側が田んぼや畑が広がるわずかな場所です。

『昔はこのあたりは田んぼで螢が舞っていた。』と話して下さいました。

最初は有志5人でこの場所の整備を始めたそうです。

『昔はこのあたりは田んぼで螢が舞っていた。』と話して下さいました。

最初は有志5人でこの場所の整備を始めたそうです。

6月5日夕方に訪問しました。

『ほたるの里』を尋ねて

虫を育てる苦労に話が弾みました。

『産卵させるのはさほど苦労しないが、幼虫になつてから世話が大変、餌となるカワニナを探りに行くが、幼虫の成長に合わせたサイズのカワニナを探る、大きいカワニナは小さく刻んであたえる。夏場飼育槽の水温が25度以上に上がらないように水を凍ら

せたペットボトルを入れて気をつけている。』と管理の大変さを話してくれました。

一匹のメスが500個くらいの卵を産み孵化するが、成長は小さいのから大きさがマチマチで、途中で死んでしまつたりと戦苦闘して世話をしていると話されていました。

見頃は6月初旬から6月20日頃で毎日の様に確認に来ていました。見られるようになると一夜に100匹ほど見られることもあるそうです。地区の皆さんにお知らせして各家庭で見にきてもらいます。シーズン中メンバーの

お話を聞いた五人衆は本当に楽しそうに話をしてくれました。この場所が皆さんのお遊び場となつてている様でした。

まつかわ大橋

片桐松川

天竜川

宮ヶ瀬橋



日に行いました。もう終盤でしたがその夜は10匹近い螢を見ることが出来ました。これからも北小学校の構内に螢が見られるように取組んでいきたいと思います。



温水プールで授業を受ける児童たち

夏は学校の授業で水泳があります。北小学校では今年度の水泳を清流苑の室内温水プールで実施しています。この取り組みについて北小学校の山寺政幸校長にお話をうかがいました。

試験的に実施

北小学校のプールは昭和50年代につくられ、およそ40年経過しています。ここ数年、ポンプやろ過装置など、毎年必ずどこかしら故障が起きるようになり、修理など繰り返してきました。こうした老朽化と維持管理の問題などが毎年あることから、どうにかならないか検討していました。

この取り組みについて北小学校の山寺政幸校長にお話をうかがいました。

老朽化と維持管理



北小学校 山寺校長



つくられておよそ40年の北小学校プール

そのような中、清流苑の室内温水プールが利用できないかという案が上がり、学校や教育委員会、清流苑とで相談を重ねてきました。授業日数を鑑みたところ実施可能という

学校と温水プールの送迎は、今年度は清流苑でバスを出しています。

また、授業の監視体制は学校職員に清流苑職員も加え、必ず複数で行っているということです。

気になるあれこれ

ここで、今年度は試験的に水泳を行いますが、室内温水プールなら季節を問うことなく水泳ができるので、冬でも授業ができます。今年度はさまざまな可能性や問題点などを探りながら授業を進めていきます。

今年度は例年通り夏の間に水泳を行いますが、室内温水プールなら季節を問うことなく水泳ができるので、冬でも授業ができます。今年度はさまざまな可能性や問題点などを探りながら授業を進めていきます。

室内温水プールには6コースあるプールのうち3コースを授業で使い、残り3コースを開放しています。基本的に6コースのプールや幼児用の浅いプールなどがあります。低学年には浅いプールも開放していますが、基本的に6コースのプールや幼児用の浅いプールなどがあります。低学年には浅いプールも開放していますが、基本的に6コースあるプールのうち3コースを授業で使い、残り3コースを開放しています。基本的に6コースのプールや幼児用の浅いプールなどがあります。低学年には浅いプールも開放していますが、基本的に6コースあるプールのうち3コースを授業で使い、残り3コースを開放しています。

そのため、児童たちが授業で温水プールに来っていても一般のみなさんが利用することは可能です。

また、温水プールでは一般向けの水中運動教室を開いていますが、これら一般向けの教室がないときに学校の授業で使つてもらうように日程を調整しています。



清流苑 伊藤係長

清流苑職員の伊藤係長にもお話をうかがいました。

一般客も通常通り利用可

* 今までは、なんとなく当たり前のように生きてきたけれど、「生きている」のは、当たり前ではないということが、今日の授業であらためてわかつた。

*人がいつ死くなつてしまつのかはわからないし、突然の事故で亡くなつたり、急に病気で亡くなつたりするかもしれない。今、周りで一緒にいる人と1分1秒を大切にして、生きていることは奇跡なんだと思いながら毎日を生きていきたい。

最初に阪神淡路大震災の映像を見て、そこからみんなが思う生きている瞬間にについて考え、その後繁延さんのエツセイを読み「生きている」と感じること、「生きている」と感じることについて考えました。

道徳「命が生まれるそのとき
に」、内容項目「生命の尊さ」
フオトグラファー繁延あず
ささんのエッセイを読み、「生

*今日の授業をやるまでは、あまり日常の中で「生きていく」と感じたことも、考えたこともなかつたので、当たり前のことが毎日のようにあるのはとても幸せなことだと思えた。当たり前がある日突然になくなるのは怖いと思つた。

日常生活が幸せに感じられるように
に生きていたいです。

前回取り上げた「伊勢参宮祝儀覚帳」は5冊ほどあり、江戸時代のものが4冊、大正時代のものが1冊あります。

◆第58回◆ 「江戸時代の祝儀・見舞帳」 (資料館だより) (その2)

タイトルは「伊勢参宮祝儀観帳」が基本ですが、伊勢参宮以外に金毘羅参詣も書かれてる帳面があります。上片桐を出立して伊勢神宮のみ行つたのか、さらに金毘羅神社へも参詣したのか、そのほかのところにも寄つてきたのか、いろいろなケースがありそうです。

更に表紙を見ると、帳面を書いた北原甚左衛門の子ども

牡丹餅・あん餅のほかにおはぎ・赤飯などが贈られていました。さらに帳面を見ると、かなり多いのは魚類です。あさり・するめ・石持(シロゲチ)といふ海水魚などがたくさん書かれています。伊

口は金毘羅大権現への
ので1か月と10日で
うに天保10年の帳面に
勢参宮留主見舞并二
帳」と書かれており、
た人へのお祝いとともに
寸番への見舞いも受納
ることがわかります。
て表紙をめくつて贈ら
のを見ると、二つの大
こまりがあります。一
類などの食べ物です。

伊勢参宮など村でどのくらいの人が行つたのか、帳面の残っている家があまりないのでわかりません。

「伊勢参宮祝儀覚帳」とともに前回紹介した「疱瘡見舞覚帳」も贈られた品物を見ると、餅類・魚類が中心です。餅類等ではまんじゅう・せんべい・菓子などがあり、魚類では鯛・鱈・鯖なども多く書かれています。婚礼や出生の祝儀の帳面に多く書かれているお金や切手(商品券)はありません。また時代が下るにしたがつて、贈るものが品物からお金に変わっていくことは、この二つの種類の帳面からはわかりません。



松川陸上クラブ (A)

53秒31

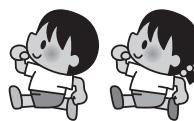
第1位

宮澤 佑菜
柳 かれん
林 美結
榎本 吾

松川陸上クラブ (B)

54秒13

第3位

藤本 心美
鈴木 梨夏
松村 大輝
岩下 隼紹

スポーツ 結果

第38回長野県小学生陸上競技大会

男女混合4×100m



第1位

第11回飯伊地区春季剣道大会

個人戦

小学生5・6年女子の部

1位 松澤 琴美

中学生3年の部

1位 島田 太陽

団体戦
小学生高学年男子の部

1位 松川A

先鋒 熊谷 俊佑

次鋒 松澤 琴美

中堅 平島 康貴

副将 酒井 俊佑

大将 山下 凜太朗

第54回下伊那郡体育協会
マレットゴルフ大会男性の部
優勝

高森町 湯沢三千男

優勝

松川町 中山 良男

準優勝

女性の部
優勝

松川町 西澤 清子

準優勝

松川町 市瀬 愛子

準優勝

女性の部
優勝

松川町 西澤 清子

準優勝

女性の部
優勝

松川町 市瀬 愛子

準優勝

情報

人形劇がやってくる!

in 上片桐改善センター

(長野県 下伊那郡 松川町 上片桐 2250)

2021/8/8(日)

人形劇
さんわ

出演: 人形劇さんわ

演目: トランクビラスケ

開場 13:00
開演 13:30主催: 松川町中央公民館
(36-2622)

共催: 上片桐地区公民館



翔子さんの書でパワーをもらってください!
泰子さんの講演で、子育ての幸せを・命の大切さを感じてください。
こんな時期だからこそ聞いて欲しい講演です。

金澤翔子

席上揮毫 ダウン症の女流書家 金澤翔子

日時 8月21日 土 13:30~受付 検温・手指消毒・マスク着用
14:00~講演会 会場 松川町 町民体育館
トレーニングルーム

お申し込み: 松川中央公民館 ☎36-2622

菅沼さんは4月1日に佐久市で行われたオリンピックの聖火リレーを走られました。きっかけはテレビ等でのCM募集で、当時はコロナ前だつた為、走れるのならぜひ走つてみたいと思い応募。農業を営む菅沼さんは、若い人にも農業に関心をもつてほしいとの思いがあり、選考を受け走ることが決まったそうです。当日はちゃんと走れるかどうか不安で緊張していて、コ



前の走者から聖火をリレー

実際に走った時に使用したトーチがご自宅に飾られており、意外と重くてさすがオリンピックの象徴だと思いまし。聖火はオリンピックの期間中灯され続けます。選手たちを見守る灯を聖火ランナーとしてつなげた菅沼さんは本当にいきいきとして見えました。トーチやユニフォームは公民館にも展示される予定なのでぜひみなさんも一度見に行つてみてください。

現世をなだめる如く
逝きし友
「風の電話」に託す春
珈琲の香
微睡の浅き春
もみじ湖と
共に幾とせ道祖神
時の奏余韻も更けて
夜長かな



聖火を手に笑顔で走る菅沼さん

口ナ渦ということもあり、ソーシャルディスタンス等にも注意しながら走りました。沿道の方々が手を振つてくれたたりして、オリンピックを待つていて人がたくさんいることを実感。家族も来てくれて喜びを分かち合えたそうです。オリンピックに関わったことが光栄だと語つてくれました。



ご家族とともに



オリンピック聖火ランナー 菅沼 晃さん



ほたるのくじら

松川北小学校四年
松下 薫衣

きょうの5・6時間目のほたるのことで、がんばつたことがいろいろあります。それはさいしょのカワニナをさがすときには、みんなと協力しながら、カワニナをさがせま

した。次はどうじをしたことです。たくさん落ち葉が落ちていけれど、ちゃんとさいごまでどうじができたのでよかつたです。



俳句

西澤 清子（中荒町）

風の電話

現世をなだめる如く
逝きし友
「風の電話」に託す春
珈琲の香
微睡の浅き春

淑氣満つ

もみじ湖と
共に幾とせ道祖神
時の奏余韻も更けて
夜長かな



6月8日 名子原体育馆
ワクチン集団接種会場取材

声

コロナに負けない!

松川のいま

- ・予約は電話で、8回目でやつとつながりました。
- ・ネット予約システムに入るまでに難しすぎて年寄りには無理だに。

接種

- ・靴の履き替えがなく入れるのは良かつた。
- ・会場の流れがスムーズで良かった。
- ・母が車椅子のため集団接種会場が広くてよかつたです。
- ・予約はインターネットで、娘に手伝つてもらいました。

- ・接種は痛くもなく今のところなんともない。
- ・2回目の接種時の副反応が心配だ。
- ・ワクチン接種について、心配はありませんでした。

「コロナ対策も兼ねて5月にリニューアルオーブン。ソーシャルディスタンスを意識してアクリル板を設置。換気ができるよう工夫もし、対策万全です。

「炭で焼く串ものや、地元の食材を使った料理が売りでリニューアルしてからはお客さんも増えました。どこの飲食店も頑張っています！少しずつ応援していただければと思います。」



皆が寝静まつた深夜。録画したドラマを観ていた時、何か聞いたことのない音？がするよう。少し不安になつて玄関へ行きました。



夜間ソフト開幕

6月22日2年ぶりに夜間ソフトボーラリーグがコロナ対策特別要綱により開幕しました。Aリーグは9チーム・Bリーグは7チームとなります。

運営委員長

・『今年はやりたい声が多く運営委員会で悩み、特別要綱にそつて開幕することができました。』

選手の皆さん

- ・特別ルールではあるが、ソフトボールができるようになりうれしい。
- ・体が重い！久しぶりにボールを投げたがもう肩が痛い！
- ・面接合後の慰労はないが我慢するしかないが、まあこうやつて集まつてソフトができることはうれしい。

（）（）（）

私は内向的な性格でピカピカ太陽の下で汗をかくことが好きでない。室内で静かに本のペー

ジをめくり…。

“え～っ！それって

誰のこと言つてる？”

などと言う影の声はおいといて誰が何と言おうと私は一人が好き。

不安になつた異音の正体がも出していました。

夜中にもかかわらず大きな声を猫ももの爆睡姿。

「ウソでしょーつ！」

けど新鮮な驚きでした。

宮下 和子

皆が寝静まつた深夜。録画したドラマを観ていた時、何か聞いたことのない音？がするよう。少し不安になつて玄関へ行きました。

公民館報
「まつかわ」

第692号
令和3年7月15日

発行所 松川町公民館
責任者 山崎 隆
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷株式会社